

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット内の入り口に理念を貼り、いつでも見れるようにしている。また、ケアプラン作成時に理念点検シートを用いて、理念に添っているか確認を行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	副施設長が澄川小学校に行きキッズサポート養成講座を再開している。コロナ禍後も、利用者様の体調不良など続き外出が難しく交流ができていない。	今後、町内会の行事等に参加などどう考えているか。 町内会の方は運営推進会議は参加しているのか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上司や、各ユニットのリーダーが参加し報告している。ご家族様からの意見は極力反映出来るよう努めている。	家族からの意見を聞いているので出来ていると思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要事項は施設長が行っている。行政から連絡あり数日間のみショートステイの体制をとったこともある。	行政としっかりと連携取れていると思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一度のリーダー会議の中で身体拘束廃止委員会を設置し、その内容を毎月職員に周知している。夜間は防犯のためPM19時～AM6時30分頃まで施錠している。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他の事業所は年4回程度しか行っていないのに毎月行っているのは凄いなと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一度のリーダー会議の中で高齢者虐待防止委員会を設置し、その内容を毎月職員に周知している。定期的に虐待防止の研修を受講している。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年一回権利擁護の研修を受講しているが、実際に制度を使用している利用者はいるがスタッフ全員が周知できてはいない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長とご家族様で話し合いを行っている。重要事項説明書の内容に変更があった際は通信などで周知を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議や苦情ボックスの設置を活用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にご家族様も参加していただき出来ている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表から意見を求められたりする機会もあり、それによって改善されることも多い。また、常にユニット内でも話し合いができています。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各スタッフは年二回リーダーと面談を行い各自目標を立て話し合いをし、代表者に報告している。評価に基づき給与に反映されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人採用することによっていい刺激になるのではないかと。日本人が向上心を持って働けると思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修が再開され、各スタッフの力量を考慮し研修に参加できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上司が個々の職員の力量を把握し研修に参加できていると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修等に積極的に参加でき他施設のかたとグループワーク等で交流ができています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの内容に反映させ、ご本人ができることは行ってもらえるよう努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は毎週教会に礼拝へ行っていた方がいたが、現在はほとんど来ていない。	家族様の面会など制限していないのであればできていると思う。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご家族様に確認をしたり、センター方式を活用し、得た情報をスタッフ間で共有し、把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスで一人の主観ではなく全員の意見を取り入れるようにしている。	会議でみんなの意見を聞きながらケアプラン作成できているのはいいと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実地指導に来た市職員の方からケアプラン等問題なく出来てきたと言われていたとのこと。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットに詳しい事を入力し、申し送りを行ったり、変化があった場合はスタッフ間で話し合い実践している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まだ記入に時間がかかったり、ケースが少ないことがある。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人にとって良いと思える事はまずやってみる事を意識し、サービスに取り入れることを積極的に検討している。	充分にできていると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源は外出が困難だったため、あまり活用出来ているとは言えない。	行事等で地域の飲食店より出前を取っているため活用できているのではないかと。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向、良い選択肢を常に考え必要に応じて家族とも連絡を取って支援に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備え	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	早期の退院が出来るよう入院の段階から意向を病院側に伝えている事が多い。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長筆頭にてできている。

		て病院関係者との関係づくりを行っている。					
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	状態が変化し、看取りが必要になる可能性が高まった時点で家族と話し合いを行えている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	指針があるとのことで十分にできていると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全職員が定期的に救命講習を受講している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に様々な場面を想定し避難訓練を実施している。 年に二回の消防の立ち会いの訓練も行いアドバイスをいただき実践できるよう次回に繋げている。	停電した時のためにホームで発電機購入しました。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	他の所より充分に出来ている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その人に合わせて関わり方を変わるように心掛けている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々に合わせて出来ている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の状態をみてその日の流れを重視している。また、言葉を発せない方の場合も想像するようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一緒に準備をするのが難しいことの方が多いが、片付け(下膳・食器拭き等)を自ら手伝ってくれる方には積極的にお願している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その人によって出来ることを行っているので出来ている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々にあった支援を行えるよう把握に努めている。低下している方には栄養ドリンクや、補食等を提供したり、食べやすい物を探り少しでも摂れるようにしている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活歴に応じて行っている。口腔ケアの重要性を周知しその方がスムーズに行えるよう努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔衛生加算を取っているので出来ていると思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	下剤での調整や、排泄パターンを考慮した上でのトイレ誘導を積極的に見直すようにしている。また、新入居の方で紙パンツを使用している方がいたが排泄パターンをみて布パンツに変える等都度話し合いを行えている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人に合わせた対応が出来ていると思います。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が希望された際は断らないようにしたり、気分の波に合わせた支援を行うようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調の変化に合わせて居室で静養できる時間を設けるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬はいつでも確認できるようにファイリングしてある。変更等あった場合は都度確認している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	完璧ではないが、いつでも確認できるようになっているのであればできていると思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人のニーズに合わせて支援している。	見つけられていない部分がある。新しい趣味を見つけるのもいいかもしれません。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナなどの感染症がありほとんど外出することができなかった。ご家族の希望でご家族とともに散歩に行かれることはあった。	これから外出する機会を作って行けるといいと思います。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ① ほとんどできていない	自己管理出来る方が今はいなく、行っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人からの希望があった際はすぐに行うようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ③ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手摺りがあったり、広い空間には手摺り代わりに物(椅子等)を設置し一人でも安全に歩行できるようにしている。季節ごとの飾りつけ等、あまり派手にならないよう工夫している。	A. 充分にできている ④ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人にあった食卓椅子が欲しいが入れ替わりがある中難しい。ホーム内の飾りつけをもっとしていきたい。	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意思表示が難しい方にも関係なくサポートの元、概ね出来ていると言える。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ⑥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の習慣や、生活歴をご本人だけではなくご家族からも聞き情報をもとにニーズにあげ実践している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	⑦ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診(内科・皮膚科・歯科)を受けたり、必要に応じて訪問看護を利用している。	⑦ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院に受診したり、必要に応じてすぐに訪問看護を利用出来ている。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ⑧ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書道をしていた方に道具を持ってきてもらい、表札作りを手伝っていただいた。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に馴染みの物を持ってきてもらうようご家族に説明持ってきていただいている。ご家族の写真飾っている方が多い。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制限することなく持ってこれているのではないか。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症後、外出できるようになってきており、少しづつご家族と出かけたりしている。	制限をしている訳ではないのでほぼ出来ている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事は積極的に行っていたが、出来なくてもその人の自立は何か考えた上で支援することで出来ている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が好む会話内容を探り会話をすることで笑顔が見られることが多くある。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ間でしっかりと共有できているのであれば出来ているのではないか。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	現在は地域との交流はほとんどないと言える。	以前は町内会の行事(祭りや、ごみ拾い等)に参加していたり、地元や住んでいる地域が違う方がほとんど。Cでいいのではないか。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症等あり地域の方とは交流ができなかった。職員や、来訪者のご家族、知人と過ごす事で日々楽しく安心した生活ができていると思われる。	数名ご家族と散歩したりできているのではないか。ご家族も面会できるようになっているので出来ていると思います。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	振り返ってみると、感染症などで心残りがあのではないのでしょうか。

(参考様式4)

事業所名 グループホーム花縁

作成日: 令和 7年 1月 15日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	食事作りはほとんどスタッフがやっているため、一人一人の力を活かせていない。	食べる楽しみだけではなく、一人一人の出来ることを見極め、調理に少しでも参加する時間が増える。	・積極的に台所に呼び、献立を伝え食材を目の前に広げて触っていただく。 ・野菜の皮むきや、炒めていただいたり味見をしていただく。他にも出来そうなことは頼んでみる。	12ヶ月
2	48	感染症の流行により外出や、地域との関わり関りがほとんどない。	感染予防の徹底をしながら地域の行事の参加や、外出する機会が増える。	・感染状況により、その時にあった柔軟な対応をし、感染予防をしながら地域の行事等に参加をしたり、散歩や、買い物に行く等、短時間でも外出する機会を設ける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。